

2024年 5月28日

株式会社 佐賀共栄銀行

第14次中期経営計画（2024年4月～2027年3月）の策定について

株式会社佐賀共栄銀行（頭取 二宮 洋二）は、下記のとおり、2024年4月1日から2027年3月31日までの3年間を計画期間とする第14次中期経営計画を策定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 期間 2024年4月1日 ～ 2027年3月31日（3年間）
2. 目指す姿 「お客さまのために“気づき！考え！行動する！”銀行」
3. 3年後の指標

項目	3年後の指標	項目	3年後の指標
貸出金残高（末残）	2,330億円	女性管理職割合	30%程度
預金残高（末残）	2,848億円	不良債権比率	2.1%
コア業務純益	25億円	修正OHR	56.3%
従業員数	240人		

※この3年間（2024年3月末対比）で貸出金残高23.9%、預金残高24.6%の増加を目標としております。

4. 基本方針

- ・お客さまに寄り添いながら積極的な資金供給を行う
- ・お客さまに満足していただけるサービスの提供を行う
- ・お客さまのライフステージに応じたきめ細かい対応を行う

5. 重点取組

- ・営業力の強化
- ・生産性の向上
- ・組織の活性化

6. 計画の詳細

計画の詳細につきましては、「第14次中期経営計画」をご確認ください。

◎本件に関するお問い合わせ先
総合企画部
宮地
TEL 0952-22-7578

第14次中期経営計画

2024年4月 ~ 2027年3月



第14次中期経営計画の概要

経営理念	<ul style="list-style-type: none"> 一. 健全経営に徹し、地域経済の発展に寄与する 一. 時代の変化を機敏にとらえ、挑戦し続ける 一. お客さまと株主、行員とその家族のために最善をつくす 						
計画期間	2024年4月 ～ 2027年3月（3年間）						
目指す姿	お客さまのために “気づき！考え！行動する！” 銀行						
3年後の 指 標	貸出金残高 (末残)	預金残高 (末残)	コア業務 純益	従業員数	女性管理職 割合	不良債権 比率	修正OHR
	2,330億円	2,848億円	25億円	240人	30%程度	2.1%	56.3%
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ◆ お客さまに寄り添いながら積極的な資金供給を行う ◆ お客さまに満足していただけるサービスの提供を行う ◆ お客さまのライフステージに応じたきめ細かい対応を行う 						
重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 営業力の強化 ◆ 生産性の向上 ◆ 組織の活性化 						

第14次中期経営計画の概要

経営理念の実現



目指す姿:3年後の指標



【基本方針】

- ・お客さまに寄り添いながら積極的な資金供給を行う
- ・お客さまに満足していただけるサービスの提供を行う
- ・お客さまのライフステージに応じたきめ細かい対応を行う

営業力の強化

生産性の向上

組織の活性化

地域経済の活性化

地域経済の発展に寄与するため、貸出金残高・預金残高の拡大を目指し、より強固な経営基盤の構築を図る。

1. 営業力の強化

重点施策

1. 足繁く通う営業活動の徹底

お客さまとの対話にこだわり、最も身近にご相談いただける銀行を目指します。

2. ご融資のスピード回答

稟議の書類を大幅に簡素化し、融資（プロパー、県保証付）の申し込みから回答までの時間について、概ね2.5日以内を目指します。

3. お客さまへの一歩踏み込んだ提案

お客さまの業績向上を支援するソリューションを徹底します。

4. 事業再生に関する支援

お客さまの事業再生への第一歩を支援します。

5. 非対面チャネルの拡充によるお客さまの利便性の向上

- ・バンキングアプリおよび個人向けインターネットバンキングの機能を拡充しお客さまの利便性の向上を図ります。
- ・法人WEB、でんさいネットの導入・活用支援を通じてお客さま利便性の向上を図ります。

II. 生産性の向上

重点施策

1. 課題解決の迅速化

業務の改善を常に心がけ、期限を明確化することにより意思決定及び行動のスピードを向上させます。

2. 業務の効率化

営業店の事務量削減を目的とした業務プロセスの見直しにより、生産性の向上を図ります。

3. 本部組織のスリム化

本部組織を統合してスリム化することにより、本部に配置する人員を削減します。

4. 外部リソースの活用

外部リソースを活用することにより、ペーパーレス化によるコスト削減と、DX化による時間短縮を図ります。

5. 店舗のリノベーション

働きやすい職場環境づくりを目的に、店舗の建て替えやリノベーションを進めてまいります。
昭和に建設された店舗(唐津・神埼・久留米・飯倉・大和)を優先して取り組む予定です。

III. 組織の活性化

重点施策

1. 行員の人間力の向上

- ・お客さまのために「気づき 考え 行動する」を実践します。
- ・2つ上の立場に立って物事を考える人材を育成します。
- ・困難な課題を自分で見つけ解決できる人材を育成します。

2. 女性活躍の推進

- ・管理職に占める女性の割合を30%程度に引き上げます。
- ・新たに女性管理職6名以上を登用し、現在の8名から14名以上を目指します。

3. 専門性の高い人材の育成

- お客さまにご満足いただけるサービスを提供していくために課題解決型人材やデジタル人材を育成します。
- ・FP2級 現在106名 → 200名(取得率83%)
 - ・ITパスポート 現在7名 → 100名(取得率42%)

4. パフォーマンスの向上

- ・2026年度までに行員を240人体制にします。
- ・総人件費を抑制する一方で、賃金の引き上げにより1人当たりの人件費を増加させます。

3年後の指標

項目	2024年3月期 実績	2027年3月期 数値目標	増減
貸出金残高（末残）	1,880億円	2,330億円	+450億円
預金残高（末残）	2,285億円	2,848億円	+563億円
コア業務純益	14億円	25億円	+11億円
従業員数	265人	240人	▲25人
女性管理職割合	14.8%	30%程度	+15.2%
不良債権比率	3.6%	2.1%	▲1.5%
修正OHR	69.7%	56.3%	▲13.4%